

公表：令和7年4月1日 回答率100%（職員7名）

事業所名

キッズやましな

		チェック項目	はい	いいえ	工夫点,改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		子ども達の活動に合わせ、リハビリ・療育など場所を区切り集中して取り組めるよう工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	7		スタッフ人数は確保されている。保育士が1名増えると尚良い。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7		生活環境の場を食事、睡眠と分けることで子ども達が見てわかる環境づくりをしている。段差はなく自由に行き来できる設計になっている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7		毎日清掃を行い清潔にしている。玩具はその都度使用後に消毒している。その日の人数やメンバーを見て配置を決めたり椅子の選定を行っている。生活環境の場を区切っている。(排泄・食事・昼寝等)
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7		必要に応じ職員間で話し合いを持つことはある。今後は定期的に時間を設けて行っていきたい。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		行事ごとにアンケートを実施 保護者の意見や要望を確認し改善につなげている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		1年に一回実施している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	6	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		外部研修に参加ができています。 年に1回は研修に参加し伝達講習にて職員間で共有している
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	1	個別支援計画の面談時に保護者に確認し評価の修正、追加を行っている。

適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		チームで話し合い実施している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		5領域に合わせた活動を取り入れていき、興味関心をもって取り組める活動を考えている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	7		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		始業前に利用時の申し送りを行い送迎確認などを行っている。児童が到着した後、朝の会にて家族からの連絡事項や体調の確認を行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	3	必要に応じ実施しているが毎日行えていない。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7		
関係機関や	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7		施設長・児発管が参加している
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7		

保護者との連携関係機関や保護者との連携	②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7		MCSを用いて連携を図っている 体調変化があった時は訪問看護、往診医へ報告連絡相談をしている。
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	必要に応じサマリー作成をし情報共有している
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	学校説明会などへの参加 就学支援として施設への見学受け入れ等を行い相互理解を図っている。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1	
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	3	直接的な交流の機会はないが、公園などで一緒になった時は同じ空間を楽しむことはある。
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	1	施設長が参加している。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		連絡ノートやLINE等を活用している。 また送迎時のコミュニケーションを大事にし直接保護者の声を聞く時間をとっている。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	5	2	
	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7		
③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			
保護者への	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	3	保護者会としての開催はないが行事の際に保護者同士の交流の場を作っている。

説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		キッズだよりの毎月発行
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7		
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3	療育活動の中で地域のお店に買い物に出かける活動を企画しているが行事への招待は行っていない。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7		
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		年に2回実施
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7		契約時に確認をしており、その後発生したものに関しては保護者に確認しケア表の変更を行っている。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	6	1	契約時に確認し食物アレルギー児には医師の指示に従う。食事の取り扱いなど注意する。現在該当児童がいない。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		ヒヤリハットの作成をし職員で共有し業務改善につなげている。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		研修を行い日々の業務に活かしている。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7		同意書の作成。身体拘束時は記録を残している。